



おうちのひとのための 交通安全新聞

9月号



2回目の交通安全教室が始まります。

内容は信号や道路の渡り方などです。



子どもたちと信号機を見てみましょう

- ・赤は「とまれ」絶対に止まらなければいけません。
- ・黄色（青の点滅）は「渡り始めてはならない」決して、急いで渡れではありません。
- ・青は「進んでもよい」青でも一旦止まって右左をよく確認し、車が止まってから渡りましょう。

赤信号で待っているときは、横断歩道に近づきすぎると車と接触する危険性があることも伝えるとよいかもしれません。



9月1日～9月30日

高齢者交通安全推進月間

9月21日～9月30日

秋の交通安全県民運動



運動の重点と取組み

1. こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
2. 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
3. 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

反射材を使おう！

着けよう！



9月は、日没時間の早まりとともに、夕暮れから夜間にかけて、歩行者事故が多発傾向となります。車から身を守るために明るい服装を心掛け、加えて「反射材」を身につけましょう。



反射材を身につけた場合は、視認距離が約57m以上となり、歩行者の確認が早期にでき、通常速度であれば手前で停まることができます。反射材の面積が大きければ、100m ぐらい離れていても見えますね。

